

江戸初期の文化

名称と時期 1 寛永 文化 17世紀前半 江戸初期 ※寛永=将軍家光期の年号

特色 ①桃山文化の継承 ②幕藩体制に順応…体制的

建築 2 日光東照宮 [栃木]…家康を改葬した霊廟 3 権現造 <例>陽明門

4 桂離宮 [京都]…5 八条宮智仁親王 (後陽成^{としひと}の弟)の別邸 6 数寄屋造 (茶室風建築)と回遊式庭園
7 修学院離宮 (後水尾天皇の山荘)

工芸 8 本阿弥光悦 …町衆芸術家 蒔絵・書・絵画・陶芸など <例>『9 舟橋蒔絵硯箱』

家康から京都10 鷹ヶ峰^{たかがみね}を拝領し芸術家を集める (11 光悦村)

12 酒井田柿右衛門 …肥前13 有田の陶工 14 赤絵・15 上絵付の技法 <例>『16 色絵花鳥文深鉢』

絵画 17 俵屋宗達 …町衆画家 18 装飾画の手法 <例>『19 風神雷神図屏風』

…壁絵・襖絵・屏風・扇絵など 光悦に始まる

20 狩野探幽 …幕府御用絵師 <例>『21 大徳寺方丈襖絵』 →以後、様式の踏襲

22 土佐光起…土佐派を再興。朝廷絵師に

23 久隅守景…探幽の弟子→破門 自由な作風 <例>『24 夕顔棚納涼図屏風』

「25 彦根屏風」…作者不明 (狩野派の手法) 当時の生活・風俗を伝える

学問 ☆26 朱子学…儒学の一派 27 臨濟僧が鎌倉期に伝来

28 君臣・上下の別を重視…封建道徳に合致→幕府・藩の保護

29 藤原惺窩…30 相国寺僧→還俗して31 朱子学を禅宗から解放 32 京学の祖

33 林羅山 (道春)…惺窩の弟子 34 侍講 (将軍の学問の師)として

家康～家綱4代に出仕 →代々幕府に仕える…”35 林家”

※朝鮮の儒学者の影響も大きい <例> 姜沆 (慶長の役で日本に抑留)、李退溪

文芸 36 俳諧…俳諧連歌から発展 和歌や連歌では使わない俗語や漢語も用いる

37 貞門派…38 松永貞徳 (規則書『御傘』) 言葉の面白さを追求

39 仮名草子…宗教・説教色が濃い <例>鈴木正三『二人比丘尼』

元禄文化（1）

名称と時期 40 **元禄** 文化 17世紀半ば～18世紀初 ※元禄=將軍綱吉期の年号

特色 ①⁴¹ **上方の町人** 中心 ←町人の台頭 ② 外国文化の影響少ない ←鎖国
③ 現実主義的 <例> 文芸一現世を「⁴² **浮き世**」として肯定 ※もと(中世)は「憂き世」
儒学—政治との結び付き 古典研究・自然科学—合理的

建築 ⁴³ 東大寺大仏殿(1709)←松永久秀の兵火で焼失(1567) ⁴⁴ 善光寺本堂(1707)など

彫刻 ⁴⁵ 円空…臨濟僧 各地を遍歴 ⁴⁶ 鉦(なた)彫りの仏像(⁴⁷ 円空仏) 1 2 万體

絵画 (a) 御用絵師 ⁴⁸ **住吉派**…⁴⁹ **土佐派**から分派 ⁵⁰ 住吉如慶じよけいが創始

→如慶の子の⁵¹ **住吉具慶すけけい**が發展…幕府御用絵師 『⁵² 洛中洛外図巻』

(b) ⁵³ **尾形光琳**…京の商人 俵屋宗達の影響→⁵⁴ 装飾画の大成(“^{りんぱ}琳派”) 『⁵⁶ 紅白梅図屏風』、『⁵⁷ 燕子花図屏風』

『⁵⁶ 紅白梅図屏風』、『⁵⁷ 燕子花図屏風』

⁵⁸ 英はなぶさ 一蝶(狩野派を破門) ⁵⁹ 岩佐又兵衛(大和絵新派・浮世絵の源流)、ほか

(c) ⁶⁰ **浮世絵**の誕生…町人社会に題材 ⁶¹ **肉筆画**→⁶² **木版**に(安価・大量)

⁶³ **菱川師宣ひしかわもろのぶ**…『⁶⁴ 見返り美人図』(肉筆) 浮世絵版画を創始

⁶⁵ 鳥居清信…⁶⁶ 鳥居派の始祖 ⁶⁷ 役者絵

工芸 ⁶⁸ **尾形光琳**…本阿弥光悦を継承 『⁶⁹ 八橋蒔絵硯箱』(伊勢物語に題材)

⁷⁰ **野々村仁清にんせい**…京の陶工 京で ⁷¹ **色絵**→⁷² **京焼**の祖

<例> 『⁷³ 色絵梅月文茶壺』 『⁷⁴ 色絵藤花文茶壺』

→⁷⁵ **尾形乾山けんざん**…光琳の弟 仁清に ⁷⁶ **京焼**を学ぶ

染色 ⁷⁷ **宮崎友禪ゆうぜん**…京の絵師 光琳の画風で下絵→⁷⁸ **友禪染**を創始

※当時の風俗 町人：元禄小袖・振袖の流行…元禄模様 農民：筒袖・股引
土蔵造・瓦屋根の普及

【正誤問題に朝鮮】<センター1996本試験、1995本試験より>

- ① 江戸初期から活躍していた久隅守景は、「夕顔棚納涼図屏風」など、情感ある農村風俗画を描いた。
② 野々村仁清は、上絵付の技法を發展させ、色絵陶器を大成して**九谷焼**の祖となった。